

平成15年8月25日

2003 - 23

**大津線の新ダイヤと石山坂本線のワンマン運転を実施**  
- 10月4日(土)より実施、石坂線の昼間時間帯の運転本数が倍増します -

京阪電気鉄道株式会社(本社:大阪府中央区、社長:佐藤茂雄)では来る10月4日(土)より大津線(京津線:7.5km、石山坂本線:14.1km、計21.6km)に新ダイヤを導入すると同時に石山坂本線(石坂線)でワンマン運転を開始します。

当社では「京阪グループ新生計画 Re-Born21」に基づき、経営改革を推進しておりますが、そのなかで大津線の自立化は重要事項のひとつであり、今回の新ダイヤの導入とワンマン運転はその一環として実施するものです。

石坂線の新ダイヤにより、従来と比較して列車の運転頻度(フリークエンス)を高め、お客さまの利便性を向上させて増収をはかります。

また、大津線では昨年11月30日より京津線(御陵-浜大津:4両編成)のワンマン運転を実施しておりますが、石坂線(石山寺-坂本:2両編成)のワンマン運転開始により大津線全線がワンマン運転となります。

当社は今後も安全対策とお客さまの利便性の向上に留意しながら、大津線の活性化と効率化に取り組んでいきます。

詳細は下記の通りです。

記

<大津線の新ダイヤ>

1. 実施日

平成15年10月4日(土)始発～

2. 概要

【平日、土休日ダイヤ共通】

石坂線の石山寺 - 近江神宮前間で

石山寺発 平日:8時45分～15時27分、土休日:8時55分～15時28分

近江神宮前発 平日:9時15分～15時59分、土休日:9時31分～16時01分

の時間帯の運行を8本/時(7分30秒間隔)とします。

(現行は4本/時、15分間隔)なお、近江神宮前 - 坂本間は現行通り4本/時。

### 石坂線の石山寺 - 坂本間で

石山寺発 平日：15時34分～20時00分、土休日：15時35分～20時08分

坂本発 平日：15時57分～19時52分、土休日：16時00分～20時08分

の時間帯の運行を8本/時とします。(現行は6本/時、10分間隔)

石坂線については上記以外は現行通りです。

京津線については石山坂本線のダイヤ改正にともない手直しを行いますが、運転本数などはほぼ現行通りです。

### 【その他】

京津線、石坂線ともに平日ダイヤと土休日ダイヤの2系統とします。

(現行は石坂線で奇数週土曜日に土曜ダイヤを実施しています。)

### <石山坂本線のワンマン運転>

#### 1. 実施日

平成15年10月4日(土)始発～

#### 2. 区間

石山坂本線(石山寺 - 坂本、14.1km、21駅)

#### 3. 実施時間

平日：石山寺発 6時50分～9時13分、坂本発 7時01分～9時06分を除く終日  
(平日の上記時間帯は列車防護要員が同乗します。)

土休日：終日

#### 4. 安全対策、サービス向上について

石山坂本線のワンマン運転実施に際して、保安設備を新設、増設します。(浜大津 - 近江神宮前間は京津線車両の回送区間のため、京津線ワンマン運転開始時：平成14年11月30日に設置済みです。)

ホームミラーの増設

石坂線各駅(三井寺、別所、皇子山、近江神宮前は設置済み)17駅34ホームに設置します。

運転士がホームの状態を確認するのに役立ちます。

旅客乗降状態確認用モニタの新設

京阪石山、京阪膳所の各駅に設置(2駅3ホーム)

曲線上の駅で後方の目視がしにくい駅では、乗降状態を監視するモニタを設置します。

#### 限界支障検知装置の増設

36か所に設置します。

急曲線部（曲線半径200メートル以下）で脱線等により隣接する線路を支障した場合、自動的に停止信号を表示します。

#### ホーム異常通報装置の増設

16駅32ホームに設置します。

ホーム周辺で異常が起こった場合、ホーム各所に設けた非常ボタンを押すことによって警報ランプと警報音で運転士に異常を知らせます。

非常通報装置の新設（石山坂本線で走る600系および700系の全車両）

車内のお客さまが非常通報ボタンを押すと運転士と通話できます。

#### ステーションスタッフの配置

石山寺 - 皇子山間の各駅にステーションスタッフを時間配置するとともに、近江神宮前 - 坂本間についてはステーションスタッフを改集札要員として列車に乗務させ（7時～20時）お客さまの利便をはかります。

など

以 上